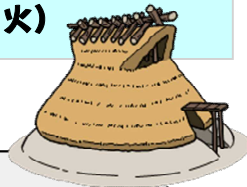




富士宮市立黒田小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

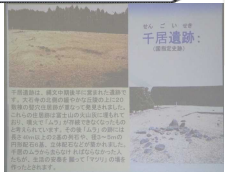
令和5年5月2日(火)

「どの活動も、時間が足りないくらいとても充実していました。」

また、体験と解説のバランスもとても良かったです。」

富士宮市立黒田小学校の6年生81人が、大昔の人々の暮らしや地域の歴史を知ること、歴史学習への興味を高めたり、地域の歴史を知ることへの意欲を高めたりすることを目的に、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こし等4つの体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話



発掘調査や保存処理について説明しました。また、黒田小学校周辺の遺跡について話し、月の輪上遺跡の上に学校が建っていることや、他にも富士宮にはたくさんの遺跡があることを知りました。

「富士宮にもたくさんの遺跡があることを知り、もっと調べてみたくなった。」



土器の分類体験



発掘された土器片と完形土器をよく見て、触って、縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器を分類しました。作り方で、質感や色、断面などに違いがあることを知り、分類することができました。

「比べてみると、色や厚さに違いがあり、時代の変化がよく分かった。」



石器の試し切り体験



鉄がない時代に、木を切ったり、穴を掘ったりする道具として石を使ったことを知り、切れ味の鋭い黒曜石で獲物を捕っていたことを学び、その黒曜石で、紙や野菜を切ってみました。

「すらすら切れて気持ちよかった。石からいろいろな道具を作っているすごいと思った。」



火起こし体験



「全然つかなくて、これで火をつけていた昔の人はすごいと思った。」

もみきり法や弓きり法、舞きり法などの火起こしの方法を説明した後、舞きり法で火起こしをしました。始め順調に弾み車を回していましたが、次第に重くなり力があることを実感しながら班で協力し、なんとか火種を作り、火種を火口に移し、火を起すことができました。



先生方の感想



「体験だけでなく、石器、土器、火起こしについての説明があることで、時代や暮らしの変化、当時の社会の様子を感じることができていました。どの活動も、時間が足りないくらいとても充実していました。また、体験と解説のバランスもとても良かったです。多くの資料や実物を準備していただいたので、子どもたちにとって、2時間があっという間でした。」